

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和5年度】

年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 150-0002

所在地 東京都渋谷区渋谷3-8-12渋谷第一生命ビルディング7階

評価機関名 株式会社プレパレーション

認証評価機関番号 機構 20 — 253
電話番号 03-6427-7451
代表者氏名 岡 知己 印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	井口 淳	経営	H2301023
	②	中野 敬介	福祉	H2001064
	③	山口 奈巳	福祉	H2101074
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	マミー高円寺保育園			
事業所連絡先	〒	166-0003		
	所在地	東京都杉並区高円寺南2-40-45		
	Tel	03-6383-1348		
事業所代表者氏名	今井 静			
契約日	2023 年 9 月 1 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2023 年 11 月 8 日			
利用者調査結果報告日	2023 年 12 月 19 日			
自己評価の調査票配付日	2023 年 11 月 8 日			
自己評価結果報告日	2023 年 12 月 19 日			
訪問調査日	2023 年 12 月 21 日			
評価合議日	年 月 日		評価合議日を入力してください。	
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	保育園を現在利用している全世帯の保護者を対象とした利用者調査をおこないました。園から利用者調査案内を配布し、WEBにて回答してもらう形式にしました。きょうだいで利用している場合は、年齢が低い方の利用者について回答をしてもらいました。職員へのアンケートは紙面にておこない、鍵付きBOXへ提出してもらったのち、本評価機関に郵送にて回収しました。訪問調査当日は、施設内の見学をしたあと、経営層に質問しながら、事故簿やヒヤリハット等の書類の閲覧をして状況把握に努めました。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、
● 機構が定める部分を公表することに同意します。
○ 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
○ 別添の理由書により、公表には同意しません。

年 月 日

事業者代表者氏名 印

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定） 1)こどもが、精神的・心理的・社会的に自立することを目指し、自己肯定感を培う 2)地域社会、保護者との連携のもとで、家庭養育の補完を行う 3)こどもが健康で、安全な生活が送れる環境を用意し、自己を充分に発揮しながら活動出来るようにする
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	（1）職員に求めている人材像や役割 こどもたちの気持ちによりそい、こどもたちの気持ちに合わせて保育をする 一人一人をよく把握し、一人一人の成長に気づける 明るく元気に挨拶が出来積極的に取り組める
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感） こどもたちの安全を守り危機管理ができる 一人一人の成長に合わせた保育をする 保護者様とお子様の成長を共感し合い信頼関係を築き、安心して保育園にお子様を預けられるよう心掛けていく

調査対象

本園47世帯(利用者61名)を調査対象とし、31世帯より回答を得た。1世帯1回答とし、複数のこどもが利用している場合は年齢の低い方のこどもを対象に回答。

調査方法

アンケート方式
ID・パスワードを記載したWEB用アンケート案内文を園から全世帯に配布し、WEBにて回答してもらう方法で実施。

利用者総数	61
利用者家族総数(世帯)	47
共通評価項目による調査対象者数	47
共通評価項目による調査の有効回答者数	31
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	66.0

利用者調査全体のコメント

総合評価は、「大変満足」が51.6%、「満足」は41.9%、「どちらともいえない」が3.2%、「大変不満」は3.2%という結果となり、「大変満足・満足」を合わせて93.5%と大変高い評価を得ています。自由記述では、「こどもの興味関心に寄り添ってくれていると感じます。こどもも『保育園たのしい』そうです。他の学年の子と交流があるのも嬉しいです。」「日々忙しい中で、保育記録を送っていただいたり、送迎の際にこういう成長が見られていると担任の先生に言ってもらえるのは嬉しいです。」「こども第一で対応して頂いていますし、保護者との毎日のコミュニケーションも非常に丁寧です。毎日安心して預けられており、大変感謝しております。」「保育園でありながら、預かりだけを目的とした遊びだけの保育でなく発達段階に合わせた学びや成長の為に内容を取り入れている。そして季節行事もおこなわれていたり、地域交流もあることでとても刺激が多い。」といったこどもを大切にしたい保育と丁寧な保護者対応に感謝の声が多数寄せられています。そのほか、職員の入れ替え頻度に対して懸念を示す声や、送迎時間の柔軟な対応を求める声も寄せられていました。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	30	1	0	0
この項目では「はい」の回答が96.8%、「どちらともいえない」は3.2%、「いいえ」、「無回答・非該当」は0%という結果となり、高い満足度を得ています。自由記述では、「色々な遊びや活動をして下さっていることが伝わってきて、とても感謝しています。こどももできることがどんどん増えていますし、毎日楽しそうです。」「集団で生活する機会があります。」というコメントがありました。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	31	0	0	0
この項目では「はい」の回答が100%という結果となり、大変高い満足度を得ています。自由記述では、「お絵描きや工作、運動遊び、調理などとても楽しそうです。」「運動会や発表会などの行事の準備を長期間かけておこなっていて、練習するにつれて徐々に成長している姿が見られます。」「最近は園で何をやったか話してくれるようになったし、園でも連絡アプリを使って1日の様子を、報告してくれます。」というコメントがありました。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	30	1	0	0
この項目では「はい」の回答が96.8%、「どちらともいえない」は3.2%、「いいえ」、「無回答・非該当」は0%という結果となり、高い満足度を得ています。自由記述では、「食事やおやつの内容もとても工夫していただいていますし、コミュニケーションもたくさんとって頂いているのでありがたいです。」「手作りの物が多く、またバラエティがありすごいと思う。」というコメントがありました。そのほか、低年齢のおやつが甘味が気になる、といった声が寄せられています。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	27	2	2	0
この項目では「はい」の回答が87.1%、「どちらともいえない」は6.5%、「いいえ」が6.5%、「無回答・非該当」は0%という結果となりました。自由記述では、「毎日散歩に行って色々な遊びの機会を提供していただいています。子どもが楽しめる行事もたくさんしていただいています。」「早くから道の歩き方や地図を把握できているので助かっています。季節ごとの行事やクッキングも楽しんでいます。」というコメントがありました。そのほか、日本や世界の伝統行事を大切にしてほしい、といった声が寄せられています。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	21	4	1	5
この項目では「はい」の回答が67.7%、「どちらともいえない」は12.9%、「いいえ」が3.2%、「無回答・非該当」は16.1%という結果となりました。自由記述では、「電話をすれば受けてくれます。」というコメントがありました。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	28	3	0	0
この項目では「はい」の回答が90.3%、「どちらともいえない」は9.7%、「いいえ」、「無回答・非該当」は0%という結果となり、高い満足度を得ています。自由記述では、「看護師さんもいるのである程度処置や通院してくれていると思う。」というコメントがありました。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	28	3	0	0
この項目では「はい」の回答が90.3%、「どちらともいえない」は9.7%、「いいえ」、「無回答・非該当」は0%という結果となり、高い満足度を得ています。自由記述では、「仕事都合による変更は比較的考慮してくれてと思う。」というコメントがありました。そのほか、平日の参観や面談は、仕事の都合上1か月前には知らせてほしい、といった声が寄せられています。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	25	2	2	2
この項目では「はい」の回答が80.6%、「どちらともいえない」は6.5%、「いいえ」が6.5%、「無回答・非該当」は6.5%という結果となりました。自由記述では、「毎日の様子を送り迎えの際に丁寧に教えてくださっていて、たくさんコミュニケーションを取っていただいています。」「伝えるにくい内容もよくない表現を避けて発言して下さるので、保護者に対してもとても配慮を感じます。」というコメントがありました。そのほか、送迎時に混んでいると相談しにくい時がある、といった声が寄せられています。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	28	3	0	0
この項目では「はい」の回答が90.3%、「どちらともいえない」は9.7%、「いいえ」、「無回答・非該当」は0%という結果となり、高い満足度を得ています。自由記述では、「たまに廊下の掃除ができなかったような時があります。お部屋は整頓されていると思います。」というコメントがありました。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	27	3	1	0
この項目では「はい」の回答が87.1%、「どちらともいえない」は9.7%、「いいえ」が3.2%、「無回答・非該当」は0%という結果となりました。自由記述では、「非常に丁寧です。」「態度は子どもたちのお手本となるのでとても大切だと思いますが、髪型や服装は自由でいいと思っています。素敵でおしゃれな先生がいてもいいです。」というコメントがありました。そのほか、子どもの前で話す内容は配慮をするべきだと思う、といった声が寄せられています。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	30	0	0	1
この項目では「はい」の回答が96.8%、「どちらともいえない」、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は3.2%という結果となり、高い満足度を得ています。自由記述では、「すぐに連絡をしていただけます。」「対応についての意見も聞いてくれます。」というコメントがありました。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	19	4	1	7
この項目では「はい」の回答が61.3%、「どちらともいえない」は12.9%、「いいえ」が3.2%、「無回答・非該当」は22.6%という結果となりました。自由記述では、「しっかりと悪いことについて子ども自身が考える機会をくれている。」「そのような状況になったことはありません。」というコメントがありました。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	29	1	1	0
この項目では「はい」の回答が93.5%、「どちらともいえない」は3.2%、「いいえ」が3.2%、「無回答・非該当」は0%という結果となり、高い満足度を得ています。自由記述では、「発表会の内容検討もそうですが、子どもたち視点で、子どもたちに一番良い環境を心から考えて頂いており、感謝しております。」「イヤイヤしているとき、子どもの態度や発言から気持ちを読み取り、気持ちに寄り添って対応しています。」というコメントがありました。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	23	3	1	4
この項目では「はい」の回答が74.2%、「どちらともいえない」は9.7%、「いいえ」が3.2%、「無回答・非該当」は12.9%という結果となりました。自由記述では、職員が話していたことを子どもから聞いたことがあった、送迎時に周りにいる保護者に配慮して話をしてほしい、といった声が寄せられています。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	28	1	0	2
この項目では「はい」の回答が90.3%、「どちらともいえない」は3.2%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は6.5%という結果となり、高い満足度を得ています。自由記述では、「日々の過ごし方を文章化することは難しいかもしれませんが、ごくたまにくだけた言葉が使われることがあり、少し気になったことがあります。」というコメントがありました。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	22	4	1	4
この項目では「はい」の回答が71%、「どちらともいえない」は12.9%、「いいえ」が3.2%、「無回答・非該当」は12.9%という結果となりました。自由記述では、「話をする時間を確保してくれる。」というコメントがありました。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	11	7	4	9
この項目では「はい」の回答が35.5%、「どちらともいえない」は22.6%、「いいえ」が12.9%、「無回答・非該当」は29%という結果となりました。自由記述では、「聞いたことはありません。」というコメントがありました。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目		
1	カテゴリー1		
	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリー1(1-1)		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
			7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している		
	評点(〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○ 非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○ 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている		
	評点(〇〇)		
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○ 非該当	
●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○ 非該当	
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している			
評点(〇〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○ 非該当	
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○ 非該当	
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○ 非該当	
	カテゴリー1の講評		
	園の理念や方針を共有し、一貫した保育を目指すため組織的な取り組みがあります 園の理念や基本方針について、職員会議や園内研修にて全職員に対し、理念共有に加え、行動指針について話し、園全体で同じ意識が持てるよう必要に応じて、理念や基本方針を周知する取り組みがあります。保護者には、毎年5月に開催する総会と保護者会で園のしおりを活用し、理念や基本方針を周知しています。利用希望者には、園のしおりや重要事項説明書を活用し、説明しています。保護者にはお知らせメールにて、行事や保育のねらいなど、園の目指していることを必要に応じて発信し、職員や保護者に向け理解を深める組織的な取り組みがあります。 経営層は目指している保育や方向性を適宜確認し、理念の実現に向け取り組んでいます 経営層は理念の実現に向け、職員会議や園内研修を通じて園の目指している保育や、こどもの様子にあわせて職員が取り組むべき方向性の確認や共有をおこなう機会を設けています。自らの役割と責任を明確にするため、事業計画書にもとづいて役割分担をし、担当に声をかけ周知するとともに定期的に進捗を確認しています。毎年の個別面談では、振り返りと次年度に向けての意欲を聞くことに徹しており、本社からの辞令があれば、掲示して全体に周知しています。これにより、経営層の指導方針が明確に職員に伝わり、共通の理解を得られる仕組みがあります。 重要な案件についての周知が確立しており、経緯についても丁寧に説明しています 重要な案件について、法人からの決定は社長から直接園にメールで通知し、園長が職員会議や昼礼などで周知します。園内の案件は職員会議で話し合い、職員と意見を出し合いながら決定しています。欠席職員へは、昼礼の内容をクラス間で伝達し、職員会議の内容はミニ会議や会議録で周知する仕組みがあります。保護者には、園だよりや園内掲示、連絡帳アプリ、お知らせ一斉メールや総会・保護者会を通じて、重要な案件の内容と経緯を伝えています。		

2	カテゴリー2		
	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
	サブカテゴリー1(2-1)		
	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況
			6／6
	評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		
	評点(〇〇〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当	
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当	
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当	
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当	
サブカテゴリー2(2-2)			
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
		5／5	
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している			
評点(〇〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当	
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当	
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当	
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる			
評点(〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当	
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当	
カテゴリー2の講評			
保護者や職員の声を大切にし、園全体でより良く改善していく体制を整えています 園では、保護者や職員の意見を積極的に聞き入れ、検討して改善に取り組んでいます。保護者の意向に関して、運営委員会の開催や行事後の保護者アンケート、意見箱の設置、総会・保護者会や個別面談、毎日の送迎時の会話などさまざまな機会 で意向を把握しています。保護者から出た意見は、職員会議などで検討し、必要に応じて法人と相談しながら解決に努めています。職員の意向に関しては、職員会議や昼礼での積極的な意見交換や検討、毎年の職員面談で職員の声を聴き、課題発見や検討をおこない対応できるよう、ボトムアップの体制を構築しています。 地域の福祉動向を把握し、園の中・長期的なビジョンと計画を具体的にしています 園では、地域の福祉の現状や福祉事業全体の動向に関する情報を積極的に収集し、課題やニーズの把握に努めています。自治体の保育指導担当の巡回や連絡会、私立園長会や保育部会、幼保小連携など様々な場で地域の現状や情報を共有し、地域の保育の専門性や課題について話し合いをしています。これらの情報を踏まえ、法人では中・長期的なビジョンを設定し、園の理念や方針の実現、課題に向けた具体的な計画を立てています。さらに、園では単年度の事業計画書を策定し、毎年目標の設定と振り返りをおこなっています。 園では、適宜目標や計画を共有し、組織全体で計画達成に取り組む姿勢があります 園では、毎年職員面談や職員会議を通じて、職員一人ひとりの目標や役割、計画の進捗状況、こどもの様子を報告し合うことで活動内容などを確認しています。年度末には各計画者が自身の評価・反省・振り返りを記載し、次年度の計画策定に反映させています。また、月間や週ごとの計画、さらには毎日の活動計画についても、定期的に進捗確認をおこなっています。計画推進においては、進捗状況を定期的にチェックし、必要に応じて見直しをおこない、目標達成に向かって着実に取り組む体制を組織的に構築しています。			

	カテゴリー3の講評
	就業規則やチェックリストを用いて法・規範・倫理の意識向上を図る取り組みがあります 園では、全職員に対して法・規範・倫理に関する重要事項を徹底する取り組みがあります。法人独自の就業規定を事務所内の目につく場所に掲示しています。また職員会議や昼礼などを通じて、気になる事例や報道について積極的に声掛けをおこない、職員の理解を促進しています。さらに、研修を通じて、法・規範・倫理に関する理解を深める機会を設けています。そのほか、区からの「保育士としての行動チェックリスト」を活用し、定期的に法・規範・倫理について確認する機会を設けることで、職員の意識向上を組織的に図っています。 利用者の声に耳を傾け、苦情や意見を解決する制度の整備と、虐待防止に努めています 園の苦情解決制度について、重要事項説明書に明記し入園説明会や総会などで定期的に周知しています。また苦情相談窓口や意見箱の設置など、利用者が意見や要望を伝える体制があります。改善が必要な点があれば職員会議で議題に挙げ、全職員で改善に取り組んでいます。園だけで解決ができない場合は、法人へ相談や区の保育課・民生員に相談し解決に努めています。また、虐待の防止策として区のセルフチェック表を活用し、定期的に意識付けをおこなっています。虐待に関する報道があった際には、昼礼や職員会議などで話し合い、対応策を検討しています。 園は地域と積極的に繋がることで、こどもたちの成長を支える環境を構築しています 保育園は地域との関わりや関係構築に積極的に取り組んでいます。園見学の際には入所に関する相談も聞きながら、アドバイスを伝えています。また、自治体の私立園長会や地区懇談会に参加し、地域関係機関のネットワークに積極的に参画しています。地域交流の一環として、図書館の利用や、近隣小学校の学芸会への参加、地域のお寺との交流があります。特にお寺との交流では、境内で散歩程度に夕涼みをさせていただいており、勤労感謝の日のプレゼントなど通じて、地域との絆を深めています。積極的に地域と関わることで、多世代との交流があります。

4	カテゴリー4		
	リスクマネジメント		
	サブカテゴリー1(4-1)		
	リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5／5
	評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		
	評点(〇〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
	●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
	●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当	
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当	
サブカテゴリー2(4-2)			
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	4／4	
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている			
評点(〇〇〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当	
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当	
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当	
カテゴリー4の講評			
マニュアルやガイドラインを活用しリスク分析と再発防止で安全な環境を整備しています 園では、本社の危機管理マニュアルや区の「教育保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応の為のガイドライン」を参考にし、リスクを洗い出し、優先順位をつけて対策を講じています。その際、緊急時の職員配置や災害レベルに応じた行動基準を明確にしています。また、安全管理体制として、ヒヤリハットの集計や怪我報告書をもとに、職員全員で原因究明と再発防止策を職員会議や園内研修で確認しています。さらに戸外活動時での安全対策として、よく行く公園の危険箇所の写真を撮り、全職員に共有することで園内外の安全対策に努めています。 園では消防計画や防災マニュアルなどを踏まえBCP策定・周知に取り組んでいます 園では、消防計画や防災マニュアルなどを踏まえBCP(事業継続計画)策定に取り組んでいます。またこれらの計画は職員や保護者に定期的に周知し、重要事項説明書にも内容が含まれています。毎年引き取り訓練をおこない、災害時の連絡手段について利用者に周知し、実際の災害を想定した訓練をおこなっています。そのほか、毎月の避難訓練や警察立ち合いの交通安全教室、AED講習など、日常的に安全管理に対する取り組みをおこなっています。災害時避難分担表やアプリの一斉メールを活用し、事態に対する速やかな対応ができる仕組みがあります。 個人情報の取り扱いについて厳重に管理・意識付け、個人情報の保護を徹底しています 園は、個人情報の取り扱いについて厳重に管理しています。書類廃棄時にはシュレッダーを使用し、個人情報書類は事務所の鍵付き棚に保管しています。職員の入退職の際にはそれぞれ誓約書を提出し、職員へは「個人情報を守ることは自身を守ることにもつながる」ことを伝えています。重要書類は本社で一括管理し、園外への情報持ち出しは禁止としています。また、重要度の高い情報は園長のパソコンのみと限定しています。保護者に対しては、入園時に書面にて「個人情報保護」の同意を得るとともに、運営規定にも明示し、入園の際に説明しています。			

5			カテゴリー5	
職員と組織の能力向上				
サブカテゴリー1(5-1)				
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる			サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評価 標準項目 ●あり ○なし 1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している ○ 非該当 ●あり ○なし 2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる ○ 非該当				
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評価 標準項目 ●あり ○なし 1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている ○ 非該当 ●あり ○なし 2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している ○ 非該当				
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評価 標準項目 ●あり ○なし 1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している ○ 非該当 ●あり ○なし 2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している ○ 非該当 ●あり ○なし 3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している ○ 非該当 ●あり ○なし 4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている ○ 非該当				
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評価 標準項目 ●あり ○なし 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている ○ 非該当 ●あり ○なし 2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる ○ 非該当 ●あり ○なし 3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる ○ 非該当 ●あり ○なし 4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている ○ 非該当				
サブカテゴリー2(5-2)				
組織力の向上に取り組んでいる			サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる 評価 標準項目 ●あり ○なし 1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している ○ 非該当 ●あり ○なし 2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている ○ 非該当 ●あり ○なし 3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる ○ 非該当				

	カテゴリー5の講評
	さまざまな採用方法と園見学で丁寧に説明し人材の確保と柔軟な配置に取り組んでいます 園では、人材確保においてさまざまな取り組みがあります。WEB上で求人かける際は、求めている人物像や園の制度について明記し、法人の理解を促しています。正社員の採用は法人が担当し、その後園見学や園長面談を実施の上、採用後のミスマッチを防ぐために、十分な説明をおこないます。パートの面接は園長が実施し、法人が最終的な決定を下しています。また人員配置においては、個人面談にて本人の希望や将来性、園の現状を考慮し、適材適所の配置になるようにしています。さらに、基準よりも多く職員を採用し、柔軟な配置に取り組んでいます。 一人ひとりに応じた育成計画を立て、適切なスキル向上につながる取り組みがあります 園では、園長と主任が一人ひとりの成長度合いを把握し、本人の希望と園長の考えを照らし合わせて、一人ひとりのスキルや担当クラスに合わせた研修に行くようにしています。研修内容に関しては園長と主任で事前に打ち合わせ、方向性を共有しています。職員の研修においては、区主催の研修やキャリアアップ研修を中心に設定し、専門性の向上に取り組んでいます。また受講した研修は、研修発表の時間を職員会議で設け、学びを共有化することで、職員全体のスキル向上と組織的な育成を実現しています。 職員のワークライフバランス確保と意欲向上に努め、良好な職場づくりに注力しています 園では、良好な職場環境づくりに注力し、職員を多く配置することにより有給休暇が取りやすく、休憩時間の確保や定時で退勤できるよう、園全体でフォローする体制があります。この取り組みにより職員のワークライフバランスを確保するとともに、職員の定着につながっています。また、働きやすい職場の実現や職員の意欲と働きがいの向上に努めています。園の決まり事やルールは園長だけで決めず、園全体で決めていくことで、職員の参加と意見の尊重を大切にし、職員のモチベーション向上を図っています。

カテゴリー7	
7	事業所の重要課題に対する組織的な活動
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
評価項目1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)	
昨年度(2022年度)の課題として、経験豊富な職員が増える中で、さらなる保育の質向上と時代に即した展開を図ることに重点を置いて取り組みました。目標達成のために毎月園内研修を実施しました。内容を保育に関わること、保健に関わることを中心に議題として取り上げました。取り組みの結果、今求められている保育とはどのような保育なのか、職員同士が話し合い、知識を共有することで、さまざまな保育の視点やアプローチを学ぶことができました。また保健指導や保健研修にも注力し、手洗い・うがい、食物アレルギー対策、SIDS、気道異物除去法、感染対策、AEDなどに関する研修を実施することで、職員のスキルや専門性が向上しました。しかし、一方で職員の負担が増えてしまうことにもつながり、新たな課題が出るようになりました。昨年度の取り組みを踏まえ、今後も園内研修を充実させ、保育の質向上を目指すとともに、職員のワークライフバランスとの両立を検討しています。これにより、職員がモチベーションを保ちながら働ける環境を整え、保育の質向上を一層高めることを今後の課題として取り組んでいます。	
目標の設定と取り組み	☒ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ☐ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ☐ 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	☒ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ☐ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	☒ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ☐ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
昨年度(2022年度)の課題において、経験豊富な職員の増えていく中でより一層の専門性を図るため、保育の質向上と変わりゆく時代に即した保育に焦点を当てた取り組みがあります。毎月の園内研修を通じ、保育や保健に関する内容を中心に議論を重ね、知識を共有することで、職員同士の協力体制が形成され、さまざまな保育の視点やアプローチを深める機会となっています。特に保健関連の研修は感染症対策や救急対応といった専門的知識の習得と、園の安全性の向上に寄与しています。一方で、専門性の向上や質の向上に伴い、職員の負担が増加する課題も見えてくるようになりました。この課題に対し、園では引き続き園内研修を充実させ、時代に即した保育の方法やそれに関わる必要なスキルを取得していくとともに、ワークライフバランスの検討にも焦点を当てています。継続的な研修とワークライフバランスの検討は、職員の働きやすい環境を整備し、モチベーションを維持しながら質の高い保育の展開に期待します。	

評価項目2 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ) 園では、過去数年間にわたりコロナ禍の影響で行事の制限があったが、保護者からの再開の声があり、安全を確保しつつ行事を再開する必要があると考え、「安全に留意し、利用者の声に寄り添いながら行事を再開していく」ということを課題に昨年度(2022年度)取り組みをおこないました。課題に対して園では、運動会を幼児クラス(3・4・5歳児クラス)対象に保護者参加にし、さらに2部制で開催しました。発表会は、3～5歳児クラスを対象に保護者参加にし、さらにクラスごとに開催することで感染症のリスクを減らし、安全性の確保を図りました。取り組みの結果、徐々に保護者が参加できる行事が再開できるようになったことで、保護者と一緒にこどもたちの成長を喜び合う機会につながりました。一方で0・1・2歳児には行事がないことが寂しいという声が挙がりました。そのため園では、保育参観や乳児クラスごとのミニ運動会など、年齢に合わせた発表や行事をおこなう取り組みを検討しています。	
目標の設定と取り組み	☒ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ☐ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ☐ 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	☒ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ☐ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	☒ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ☐ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評 園では、コロナ禍における行事制限に直面しながらも、保護者の声に耳を傾け、安全性を確保しつつ保護者参加行事の再開に取り組みました。感染症対策として、運動会は幼児クラス(3・4・5歳児クラス)を対象に2部制で開催し、発表会は3～5歳児クラスを対象にクラスごとに開催するなどの工夫をしています。これにより、保護者とこどもたちが行事に参加しやすくなり、こどもの成長の瞬間を共有できる機会が増えました。一方で、0・1・2歳児クラスにおける行事の声が寄せられるようになりました。園はこれに対して、保育参観など年齢に合わせたこどもの成長を観てもらい取り組みを検討しています。このような積極的な対応は、保護者との信頼関係を築く上で重要であり、保護者のニーズに応えようとする姿勢があります。今後も保護者とのコミュニケーションを密にし、安全性を確保しつつも保護者の声に応え、従来とは違う柔軟かつ新しい形で、こどもたちの成長を喜び合える行事の展開に期待します。	

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目		
1	サブカテゴリー1		
	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	4／4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		
	評点(〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	◎あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○ 非該当
	◎あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○ 非該当
	◎あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○ 非該当
	◎あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○ 非該当
	サブカテゴリー1の講評		
	園の情報は、区のホームページを中心に利用希望者に向け発信しています 杉並区のホームページに保育園の所在地、電話番号、対象年齢、定員、保育時間、延長保育時間などを記載しているほか、東京福祉ナビゲーションの第三者評価を活用して、利用希望者がいつでも情報を得ることができるようにしています。また、近隣の子育てプラザに園のパンフレットを設置してもらい、施設を利用する地域の子育て家庭に情報を提供しています。現在、園独自のホームページの開設には至っていないため、今後は園の魅力的な取り組みを発信するホームページの開設と充実に期待します。 園のしおりにさまざまな情報を掲載し、行政にも定期的に情報共有を図っています 園のしおり(園生活の手引き)には、保育理念や保育方針のほか、重要事項の案内、施設・設備の概要、職員数、一日の生活の流れ、主な年間の行事予定などを詳しく掲載しており、利用希望者が入園後のイメージを持った上で安心して入園できるようにしています。また、自治体の「災害時子ども安全連絡網」を導入し、入園した際には登録をお願いして緊急時も迅速に情報の発信をする旨を伝えています。園の情報は、新年度に移行する前の年度末に必要なに応じて見直し・更新をして、行政や関係機関へ情報提供しています。 園見学では園で大切にしている園目標にもとづく保育について丁寧に説明しています 園見学は、電話で随時受け付けており利用希望者の要望に沿えるように実施しています。見学は、こどもの様子が見られるように、こどもたちが室内で活動している時間に設定し案内をしています。また、園のしおりやパンフレットを渡して園内の見学、活動の様子などを見てもらいながら、園目標である「明るく元気な子、しっかり挨拶する子、ちょっと我慢できる子、よく考え勇気をもって何にでも取り組める子、自分もみんなも大切にする子」を大切に日々の保育にあたっていることを伝えています。そのほか、希望があれば子育て相談も受けています。		

サブカテゴリー2			
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6 / 6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている 評点(〇〇〇)			
評価		標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		☐ 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている 評点(〇〇〇)			
評価		標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		☐ 非該当
サブカテゴリー2の講評			
入園前に説明会や個別面談をおこない、保護者の意向などを丁寧に確認しています 入園が決定した家庭には、事前に新入園児説明会、入園前面談、入園前健診の案内と提出書類を郵送して入園にあたって必要な情報を提供しています。新入園児説明会では、入園のしおりをもとに重要事項を説明し、その後、個別面談をおこない、こどもの状態や保護者の就労状況などを確認しています。重要事項説明書及び肖像権使用に関しては、保護者の理解や意向を確認し、同意書を交わしています。また、画像使用などに関して同意が得られなかった場合には、昼礼や職員会議を通じて全職員へ周知する体制を整えています。 入園前の情報をもとに、個々のペースに合わせた慣れ保育を実施しています 入園直後の慣れ保育を進めるにあたって、入園前の面談記録や児童票をもとにこどもの状況を把握しています。慣れ保育は、2週間程度の期間を目安に進めており、こどもが安心して過ごしているか、水分補給や食事は園でも摂れているかなどのほか、保護者の職場復帰の時期にも配慮して期間を柔軟に変更しています。慣れ保育期間中は、こどもが安心して過ごせる環境を作るため、できる限り同じ職員が対応し無理のないよう個別で進め、保護者にはコミュニケーションを図りつつこどもの園での様子を丁寧に伝えるようにしています。 卒園・退園後も、こどもや保護者が安心して新しい環境へ進めるように支援しています こどもが退園や卒園をする際に関係機関から情報提供を求められた場合には、必要に応じて協力する体制を整備しています。退園をするこどもには、お別れ会を実施して、こどもたちが作ったプレゼントを渡しています。卒園児には、毎年園からこどもの名前入りの傘を卒園記念品として贈り、卒園をお祝いしています。継続的な支援を大切に考え、いつでも園に遊びに来てもらえるようなあたたかい雰囲気づくりをして、保護者にも声をかけています。今後は、卒園児と交流する機会として園の行事に招待することも検討しています。			

サブカテゴリー3		
3	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 13／13
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○ 非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○ 非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○ 非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点(〇〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○ 非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	○ 非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○ 非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○ 非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	○ 非該当
評価項目3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○ 非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○ 非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○ 非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	○ 非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	○ 非該当
サブカテゴリー3の講評		
こどもの心身の状況や生活状況を把握し、ニーズに応じた支援を提供しています こどもの心身の状況や生活状況は、児童調査票、児童健康票、入園前確認票、家庭状況表、新入園児面談表などを通じて把握し、事務所で保管しています。保健に関する事項については、看護師が情報を収集し各書類へ記入をして管理しています。こどもや保護者のニーズ・課題は、入園時の面談のほか、保護者懇談会、個別面談、行事後のアンケート、連絡帳のやりとりや普段の保護者との会話などで定期的に情報を収集し、個別指導計画や発達記録、児童票、保健記録などに記載しています。各記録や計画は月ごとや期ごとに見直しをしています。 こどもの育ちを見通し、主体性を尊重した計画の作成に努め、保護者にも共有しています 全体的な計画は、園の状況に合わせて施設長が検討・立案して整備しています。各種計画は、こどもを一人の人として尊重し、こどもが自己肯定感を持てるように関わることを第一に考え作成しています。計画作成の際には、こどもの育ちを把握し見通しを持って計画を立てるように心がけるとともに、計画の内容がこどもが主体となることを大切にしています。個別的な計画は、年間計画の中に作成し、都度見直しを図っています。保護者に向けては、クラス懇談会で年間目標を、クラスだよりでは月の目標をそれぞれ分かりやすく伝えています。 内容によってICTシステムと対面の情報共有を活用し、職員間での連携を深めています 指導計画の内容や個人の記録、こどもや保護者の状況の変化は、ICTシステムを通して職員間で共有しています。また、週2回昼礼を実施して気になるこどもの様子や必要な伝達事項を伝え、顔を合わせた対面での情報共有の場も大切にしています。こどもの日々の状況や保護者からの伝達事項は、クラス連絡票や生活管理表に記入し、すぐに共有が必要な事案に関しては都度ICTシステムを通して迅速な情報共有に努めています。そのほか、職員会議の中で事例を挙げクラスの職員だけでなく全員で共有し、こども一人ひとりに対する理解も深めています。		

サブカテゴリー5			
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している 評点(〇〇)			
評価		標準項目	
● あり ○ なし		1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○ 非該当
● あり ○ なし		2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○ 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点(〇〇〇)			
評価		標準項目	
● あり ○ なし		1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○ 非該当
● あり ○ なし		2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○ 非該当
● あり ○ なし		3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○ 非該当
サブカテゴリー5の講評			
個人情報の保護、こどものプライバシーや羞恥心に配慮した保育に努めています こどもや家庭に関する情報の取り扱いにおいては、入園時と必要時に保護者の意向を確認し同意を得ています。保育においてもこどものプライバシーや羞恥心に配慮し、おむつ交換はトイレ内で一人ずつおこない他児から見えないように扉を閉めています。着替えの際には、カーテンを閉め下着一枚にならない着替える方法を伝えるとともに、パーテーションを活用し男女で分けて着替えています。また、水あそびやシャワーをする際には、外部から見えないように目隠しを設置して外からの視線にも配慮しています。 こどもの人権を尊重した関わり方や、保護者の価値観への寄り添いを大切にしています 園では、こども一人ひとりの人権尊重について理解を深めるため、毎年年度の始めの職員会議で園長より、呼び捨てやあだ名で呼ばない、後ろから抱き上げない、鼻を拭く際には必ず声をかける、など基本的なこどもへの関わり方について確認をしています。また、こども主体の保育やこどもの人権について日常的に職員の目の触れるところに掲示していつでも意識できるように働きかけています。こどもや保護者の価値観や生活習慣を配慮するため、個人面談や日々の連絡帳のやり取りを通じて家庭の考え方や事情にも寄り添っています。 研修報告を通じて情報を共有し、職員間で虐待防止などへの理解を深めています 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、人権や虐待、育児困難家庭支援に関する研修に参加して理解を深めています。研修に参加した職員は、職員会議の中で研修報告をおこない、全職員へ情報の共有を図っています。また、職員は自治体の自己評価チェックシートを活用し、自身の行動や言葉かけなどがこどもにとって適切かどうかを振り返っています。他園の不適切保育に関する報道があった場合には、昼礼などで共有・周知をおこなっています。今後は、定期的にセルフチェックをおこない上長と振り返りの機会を設けることにも期待します。			

サブカテゴリー6		
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5 / 5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	☐ 非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	☐ 非該当
サブカテゴリー6の講評		
マニュアルとガイドラインを活用し、基本的な業務について標準化を図っています 法人や園独自で作成した安全危機管理、保健衛生、保育所における感染症対策、アレルギーなどのマニュアルや、杉並区より配布されたガイドラインなどを活用し、業務の標準化を図っています。杉並区が独自に整備している「保育実践の手引き」には、保育に関わる基本的な手順や考えが明記され、これを活用することにより職員が共通認識を持って日々の保育にあたることができます。手順書やマニュアルは、事務室の書庫のほか、各クラスにも配置してわからないことがある場合は、いつでも必要なときに確認できるようにしています。 保護者や職員からの意見や提案を反映し、サービスの見直しや改善をしています サービスの見直しに際しては、保護者や職員の意見を積極的に取り入れています。保護者からは、意見箱や行事後のアンケート、年1回の運営委員会などを通じて意見や要望を収集し、寄せられた意見を職員会議で話し合い改善などに向けて検討を重ねています。保護者からの要望として、保護者参加行事中の兄弟児の預かり保育について意見が寄せられ柔軟に対応しました。職員からは、行事によって参加する年齢が異なることについて職員全員で話し合う機会を設け、全員が納得した上で保育業務や行事内容の改善・見直しをしています。 状況に応じ適切な対応ができるよう、定期的な話し合いを通して質向上を目指しています 日々の保育の業務においては、嘔吐処理の手順・消毒方法など保育室や必要な場所に対応フローチャートをわかりやすく掲示し、職員の誰もが適切な手順で業務を遂行し、同じ対応ができるようにしています。また、緊急時に備えて地震の対応、火災発生時の対応、不審者発見・侵入の対応などの手順書を設置して、職員が落ち着いて正確な情報を提供できるようにしています。そのほか、保育やサービスも含め、質の向上を目指して定期的に職員会議で議題に取り上げるなどして、より質の高い保育の実現に努めています。		

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	36／36
1	評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている 評点(〇〇〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○ 非該当
	●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○ 非該当
	●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○ 非該当
	●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○ 非該当
	●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○ 非該当
	●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	○ 非該当
評価項目1の講評			
一人ひとりの姿を把握し、こどもの自主性・主体性を尊重した環境づくりに努めています こども一人ひとりの全体的な姿を把握するため、入園時に収集した情報に加え、連絡帳のやり取りや日々の保護者との会話、個別の面談、こどもの育ちの中で得た情報をもとに成長に合わせた配慮や援助について発達記録や児童票に記録し、昼礼や職員会議の中で報告をして共有しています。また、こどもの自主性や主体性を大切にし、玩具の配置や活動の動線を工夫して、自由に遊びを選べる環境の整備と安心して生活できる空間づくりに努めています。こどもの定員を他園よりゆったりと設定しており、一人ひとりの気持ちに寄り添える環境が整っています。 異年齢交流を通してこどもたちが互いを認め合い、尊重する心を育んでいます 園では、日々の保育の中でこどもたちがお互いを認め合いながら生活し、それぞれを尊重する心を育んでいます。毎日の朝の活動や夕方の自由時間には、異年齢の関わりを深めています。職員は、常にこどもの見本になるようにし、優しく正しい言葉がけを心がけています。コロナ禍前には、年上児が年下児へ着替えの手伝いをして自分より小さなこどもを大切に思う気持ちを育んでいました。特別な配慮を必要とする子には、必要に応じて絵カードを掲示し、職員を多く配置して日々の生活の援助をしています。 小学校との連携と充実した保育で小学校生活に備え、円滑な就学をサポートしています 幼保小連携会議に参加して小学校との連携を図り、5歳児クラスでは小学校の合唱祭や作品展、学芸会の見学などを通して小学校生活の様子を観察し、円滑な就学に向けた支援に取り組んでいます。日々の保育の中では、朝の活動、夕方の自由遊びの時間、お昼寝がなくなったあとのお昼寝の時間に、机上遊びを中心に落ち着いて過ごす時間を設けているほか、定期的に図書館を利用して必要な社会性を学んでいます。保護者には、就学前のお知らせや学童の案内などを掲示して知らせるとともに、必要な家庭には個別で面談をおこない相談に乗っています。			

2

評価項目2

子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○ 非該当

評価項目2の講評

こどもの発達を大切に、家庭と連携をして基本的な生活習慣が身につくようにしています

登園時には、連絡帳アプリの内容と併せてこどもの様子を直接保護者に確認し、こどもの顔色や表情なども見て視診をおこなっています。把握したこどもの情報を全職員へ周知する必要がある場合には、生活管理表に記載して各自確認をおこなっています。こどもの発達に応じ、幼児クラスでは栄養士から食事に関する指導を定期的の実施するほか、乳児クラスではこどもの気持ちに寄り添い個別の状況に配慮した食事の進め方をしています。トイレトレーニングに関しては、こどもの成長に合わせて興味を持ったこどもから無理強いせずに進めています。

こどもの発達、年齢、生活時間に合わせて、休息やお昼寝は柔軟に対応しています

休息やお昼寝はそれぞれのこどもの発達、年齢、生活時間に合わせて、健康面に配慮しながら、個々に対応しています。特に1歳未満のこどもには、必要に応じて午前寝や夕寝の時間を設けるなど一人ひとりの発達に合わせた対応を心がけています。お昼寝は、無理に寝かせることはせず、布団でゴロゴロしながら身体を休めるための時間を作ったり、支援を必要とするこどもには個別に絵本を見て気持ちを落ち着かせてから眠るなど個別の対応をしています。5歳児は就学に向けて、10月ごろからお昼寝をなくし、クラスでの活動を充実させています。

連絡帳アプリや写真、日々の会話で保護者との密なコミュニケーションを図っています

0～2歳児クラスにおいては、連絡帳アプリを使用して日中の活動と個々の様子を配信しています。3～5歳児については、その日の活動の様子を毎日配信して、園生活を楽しむこどもの様子を伝えています。降園時には担任や遅番担当職員が保護者一人ひとりに日々の様子を細かく伝えて、こどもの日々の成長を共有しています。また、各保育室の前などには日々の様子を写した写真をドキュメンテーションとして掲示し、こどもの日々の成長を職員とともに喜び合えるよう保護者にも共有しています。

3

評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○ 非該当
● あり ○ なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○ 非該当
● あり ○ なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○ 非該当

評価項目3の講評

こどもの主体性を育む遊び場を作るため、興味に合わせた玩具と環境を整えています

保育室には、コーナーを作り、こどもが遊びたいものを見つけ、好きな遊びをじっくり楽しめるような環境づくりをしています。絵本、車や指先を使う玩具、パズル、ままごとなど、発達段階に応じた玩具を豊富に提供しています。また、作りかけのブロックなどを置ける場所を確保し、遊びの続きがいつでもできるようにして遊びの継続性にも配慮しています。絵本コーナーには、こどもの身体に合わせた手作りの長椅子を設置して、落ち着いて絵本を楽しめる環境を整えており、こどもが主体的に遊びこめるよう工夫しています。

乳幼児期における言葉への興味、コミュニケーション能力、表現力を育んでいます

乳児クラスでは、手遊びや絵本の読み聞かせ、日々のこどもと職員のやり取りなどを通じて言葉に対して興味を持てるようにしています。幼児クラスでは、友だちとのやり取りを中心に自分の気持ちを伝える経験を繰り返しながら、言葉を使ったコミュニケーションを楽しめるようにしています。また、運動会や発表会などの行事の前には、縄跳びや跳び箱を使った運動遊びに取り組んだり、ハンドベルや鈴、カスタネットなどの楽器を使った活動を計画的に取り入れ、こどもたちが自らの思いを表現し、その表現を楽しむ環境を提供しています。

五感を刺激する自然体験で季節を感じるとともに、遊びを通して社会性を育んでいます

天気の良い日にはお散歩に出かけ、近隣の自然豊かな公園を活用して草花の観察をしたり、探索活動を楽しんだりしています。落ち葉拾いをしたあとには制作に使用して季節感を味わっています。また、飼育しているメダカにこどもたちが交代で餌をあげて世話をし、命を育む大切さを感じています。そのほかにも、ルールのある遊びやゲームを通してきまりやルールを守って遊ぶことの楽しさや魅力を感じられるよう、必要に応じてこども同士で話し合う機会を設けるなど、こどもたち自身がきまりを守る大切さについて考えられるようにしています。

21 / 26

4	評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している 評点(〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	● あり ○ なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○ 非該当
	● あり ○ なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○ 非該当
	● あり ○ なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○ 非該当
	評価項目4の講評		
こどもたちが主体的に行事に向かって取り組み、充実感や達成感を味わっています 園では、こどもたちが主体的に行事に取り組めるようその過程を大切に考え実施しています。行事に向かってこどもたちが自分の考えを伝えたり、友だちの話を聞いたりして話し合って内容を決める場を設けることで、こどもたちの主体性が育まれるとともに行事への興味や関心が広がっています。また、こどもの年齢や発達、成長に合わせた表現や運動遊びを必要に応じて職員も一緒に考え、自分たちで決めたことを協力して取り組むことで、やり遂げる充実感、達成感を味わい自信につながるようにしています。 日々の積み重ねを通して成長した姿を友だちや保護者と共有し、達成感を味わっています 行事を実施するにあたり、日々の保育の中で読み聞かせをしているこどもたちが好きな絵本を劇あそびの題材につなげるなど、こどもたちの興味や関心があるものから行事に発展するようにしています。また、発表会では、劇あそびのほか、ハンドベル演奏、楽器の合奏などを通じてみんなで協力してやり遂げる喜びとともに、達成感を味わっています。運動会では、年齢に応じてバルーン、縄跳び、跳び箱などに取り組み、保護者と職員がこどもの成長を共有し喜びを分かち合う機会にもなっています。 連絡帳やドキュメンテーションを活用し、こどもの心身の成長を保護者と共有しています 行事は取り組みの過程を大切にし、連絡帳や写真などを活用してこどもの育ちを見えやすくするようにしています。行事までの活動の様子は、アプリにて各クラス本日の様子として一斉配信して伝えているほか、行事の後に各クラスの前に写真を活用したドキュメンテーションを掲示して、保護者にこどもたちの取り組んでいる姿を共有しています。年度の始めにおこなっている総会・クラス懇談会では、園のしおりについて重要な事項について伝え保護者に理解を求めるほか、クラス懇談会では年間のクラス目標などを伝えてクラス運営への理解を得ています。			
5	評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている 評点(〇〇)		
	評価	標準項目	
	● あり ○ なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○ 非該当
	● あり ○ なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○ 非該当
	評価項目5の講評		
発達や時間帯に合わせた環境づくりをして、安心安全に保育をおこなっています こどもが一日を通して、それぞれの時間・場面で楽しめるようブロックやおままごと、絵本などさまざまな玩具を用意しています。乳児クラスでは、リズム遊びなど体を動かし、安全に配慮しながら、室内でも身体を動かして遊べる環境を整えています。また、こどもの体調や気持ちに配慮し、状況に応じて柔軟に個別対応をしながら、こどもがゆったりと安定して過ごせるように努めています。長時間に渡る保育の中で、それぞれのこどもの発達に合わせた保育環境となるよう時間帯を細かく区切り、職員を適切に配置してこどもの安全に配慮をしています。 長時間保育でも安心できる空間作りに努め、個々の状況に合わせた環境を整備しています 保育時間の長くなる中で、こどもの年齢や発達に応じて午前寝や夕寝ができる環境を整えたり、ゴロゴロしたりできる場所を設けて、個々の体調や思いに寄り添った対応をおこなっています。早番の時間帯では、合同保育で異年齢との関わりを深めながら、危険のないように小さな玩具や鉛筆などの先がとがっているものは出さないなどの配慮をしています。遅番の時間帯は、こどもの人数の変化を見ながら、少人数だからできる遊びや他クラスの玩具などを用意し、同じ遊びにならないように保育の環境を工夫しながらお迎えを待てるようにしています。			

6	評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している 評点(〇〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	☒ あり ☐ なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	☐ 非該当
評価項目6の講評			
落ち着いてゆったりと食事できる環境を整え、こどもに合った献立を工夫しています 園では、年齢に応じた食事のマナーを伝えながらこどもの気持ちに寄り添い無理強いすることなく楽しく食事することを大切に考え、食事の環境を整えています。毎日、栄養士や調理員が全クラスを回ってこどもたちの食事の様子を確認しているほか、喫食報告書を活用し職員がその日のこどもの食べ具合や苦手だったもの、好評だったメニューなどについて記載し、下膳時に調理担当へ提出してこどもたちの喫食状況を細かく把握できるようにしています。毎日のラウンドや報告書をもとに調理方法を見直したり、新しいメニューを取り入れたりしています。 こどもの成長や発達に加え好みやアレルギーにも配慮し、安全な食事の提供をしています 離乳食の段階を上げる際には、一人ひとりの成長に合わせ無理のないように進め、家庭で必ず1回は食材を食べてから園でも提供するようにして安全に配慮しています。アレルギー対応食を提供する場合には、安全に提供できる動線を作り提供するまでに3重のチェックをおこなってから配膳をして、誤食が起こらないように徹底しています。また、こどものお腹の調子の良くないときには牛乳は控えて水分補給をおこなっています。献立は、旬の食材を多く取り入れ、食材の大きさや彩り、季節を感じる工夫をしてこどもたちの食への興味を深めています。 栽培や調理活動、体験を通して食材への興味関心を高め、食育を深めています 園では、食への関心を深めるため食材の栽培や年齢に応じた調理活動などに取り組んでいます。野菜の栽培では、収穫後に給食室の調理担当者へ渡しに行き、その日の給食で食べる経験をしています。また、枝豆の栽培では枯れてしまったことを受けて、どうしてそうなってしまったのかこどもたちと考察し、野菜を育てるために必要な知識と学びを深めています。調理活動では、野菜の皮むき、お月見団子、クッキー、さつまいも餃子作りなど、さまざまなクッキングに挑戦し、栄養士と職員が連携を取りながらこどもたちが楽しんで取り組めるようにしています。			
7	評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している 評点(〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	☒ あり ☐ なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	☐ 非該当
評価項目7の講評			
看護師による保健指導を通して、こどもたちの健康的な身体づくりに取り組んでいます 園では看護師が中心となり、手洗い、うがい、歯磨き、咳エチケットなどの保健指導をクラスごとにおこなっています。感染症が流行する時期には、分かりやすく病気の症状や気をつけるべきことを説明することで、こどもたちの健康に関する興味関心が深まっています。各手洗い場には手の洗い方を掲示し、こどもが自分で確認をしながら正しい手洗いができるようにしています。また、健康的な身体づくりのために、5歳児クラスでは縄跳びに挑戦したり、公園では体を思い切り動かしたり、自然物に触れることに意識して取り組んでいます。 こどもたちの安全を守るために、ヒヤリハット報告を徹底し、全職員へ周知しています 園では、こどもの怪我につながる恐れがある事案を確認した際には、ヒヤリハットとして報告書を作成し、都度提出しています。提出されたヒヤリハットは、職員会議で全職員へ周知して情報の共有を図っています。収集されたヒヤリハットと事故報告や怪我報告を年間で集計しており、昼礼などで全職員へ周知しています。今後は改善策などについて話し合いをもとに、より安全な環境の整備を検討しています。医療的なケアが必要な子どもには、定期的に医療機関にかかっている情報を保護者とこまめに共有して、園での過ごし方について確認をしています。 感染症情報の共有や事故予防に取り組み、家庭と連携しこどもの健康維持に努めています 毎月のほけんだよりには、前月の感染症の発生状況や保健に関する情報を掲載しています。こどもの健康を維持するため、区からの注意喚起を受けて乳幼児突然死症候群(SIDS)の予防に関するポスターを掲示して保護者に共有するほか、ベビーセンサーの使用、睡眠時の呼吸チェック、顔色観察などをおこない、園でも予防に努めています。また、2023年度は保育や保健に関する園内研修を4月から12月までの間に取り組み、職員の学びを深めています。アレルギーのあるこどもに対しては、半年に一度提携医に相談の上対応について確認をしています。			

8	評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている 評点(〇〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	☒ あり ☐ なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	☐ 非該当
評価項目8の講評			
家庭の状況や事情に合わせた柔軟な対応や保護者同士の関わりを大切にしています 入園時の個別面談においては、こどもの状態や家庭の状況を把握し、保護者の要望の確認をおこなっています。入園時の慣れ保育では、それまでのこどもの保育歴なども考慮して必要に応じて柔軟に変更するなど、個々の家庭状況に配慮した対応をしています。また、保護者同士の交流を深める場として、保護者懇談会（総会とクラス懇談会）を実施し、クラス懇談会の時間には保護者同士が意見交換できる時間を設けて、積極的に関係づくりができるような環境の整備を心がけています。 連絡帳アプリ、日々の会話、個人面談などを通して、保護者と信頼関係を築いています 送迎時にはこどもの様子を保護者に丁寧に伝えています。また、家庭での姿を聞いたり、子育ての楽しさや成長の喜びを共感したり、日々保護者に寄り添った対応をしています。0～2歳児までは、連絡帳アプリを活用し、日々のやり取りを通じて保護者と職員の信頼関係を深めています。気になる様子がある保護者には職員から声をかけ、必要に応じて話を聞く体制を整えています。また、年に1回は個人面談をおこない、こどもの発達や育児について共有する時間を設けています。 保護者がこどもと一緒に保育活動を楽しみ、喜びや成長を共有できるようにしています 園では、保護者の養育力向上のため、乳児クラスで保護者が保育の様子を見学する保育参観や、体験する保育参加の機会を提供しています。基本的に保護者の要望に沿って保護者が保育参観か保育参加を選び実施しています。幼児クラスでは、運動会や発表会などの大きな行事を通してこどもの様子を共有し、行事後にはアンケートを実施して保護者の意見や要望を収集しています。また、保護者参加行事は土曜日にできる限り実施して、保護者が保育の活動に参加しやすい環境を整えています。			
9	評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている 評点(〇〇)		
	評価	標準項目	
	☒ あり ☐ なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	2. 園の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	☐ 非該当
評価項目9の講評			
地域資源を活用した園外活動を通して、多様な体験と交流の機会を提供しています 園では、天気の良い日には近隣の蚕糸の森公園や梅里公園などの地域の公園を利用し、季節の草花を鑑賞したり、虫探しなどをおこなったりして、多様な活動や体験ができるようにしています。5歳児クラスでは、近隣の図書館を定期的に利用し絵本を借りる経験をしています。近隣の商店街には、散歩を兼ねて買い物に行き、その体験を通じてお店で働く方との関わりを楽しんでいます。また、警察署と連携し幼児クラス向けに交通安全指導をおこない、こどもたちの安全に関する意識を高め学びを深めています。 今後は地域との連携をさらに強化し、こどもたちの視野を広げる活動の充実に期待します 園では、年間を通して園見学を受け付けており、希望があれば子育て相談にも応じ地域の子育て家庭の支援につなげています。また、隣接する寺院の住職の方のご厚意により、お寺の敷地内で散歩ができ、お礼に勤労感謝の日に5歳児から制作物のプレゼントを贈って交流を深めています。コロナ禍が落ち着いてきたこともあり、今後は地域のイベントに参加したり、園行事に地域の人を招待したりすることを検討しており、地域との関わりを深め、園がより地域に根づいた保育園になることに期待します。			

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	自然物とのふれあい、思い切り体を動かす経験を通して、充実した活動につなげています	
内容①	園では、運動能力の高まる幼児期のこどもの姿を見据えて、乳児期からお散歩に行っています。乳児期クラスでは外気浴からはじめ、少しずつ園周辺や、公園まで散歩に出かけています。陽に当たる事、季節を感じる事、自然物との触れ合いをしています。幼児期では、しぜんぶつの触れ合いの中で発見から探求心へとつなげたり、思い切り体を動かすことでリフレッシュしたり、固定遊具で遊びながらバランス感覚を養い、友だちとルールある遊びを通して社会性を養っています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	5-1-3	事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる
タイトル②	充実した職員数と経験を活かし、個々の成長や組織全体のスキル向上目指しています	
内容②	園では、ベテラン職員の多さと充実した職員数を活かし、研修を通じて質の高い保育を目指しています。育成計画は、園長や主任が個々の成長を把握し、本人の希望と照らし合わせています。職員面談で個人のスキルや担当クラスに合わせて受講する研修を計画しています。また本人希望の研修があれば、積極的に受講できるよう体制を整えています。シフトの調整や外部研修を出勤扱いにするなど、職員が研修に参加しやすい環境づくりを整備しています。さらに、学んだ研修内容は職員会議で発表の場を設け、園全体の質の向上に取り組んでいます。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	2-1-1	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している
タイトル③	地域との連携を積極的に図り、情報収集と課題を共有し、地域福祉に努めています	
内容③	園では、地域の福祉の現状について情報を収集し、課題やニーズの把握に力を入れて取り組んでいます。自治体の保育指導担当の巡回や区園長会、私立園長会、保育部会などに積極的に参加し、福祉の現状と課題について情報収集をおこなっています。また、中核園でおこなう地域の保育園交流会にも参加し、地域の情報や現状、課題の把握に努めるとともに、各園の取り組みについて情報共有をおこない、保育の質の向上につなげています。そのほか、幼保小連携に参加することで、小学校とも情報共有をおこない、就学に向けての不安軽減に取り組んでいます。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	5つの保育目標にもとづき、こどもの気持ちを丁寧に聞き、こどもの自発性・自主性を尊重したのびのび過ごせる環境作りに努めています
	内容	園では、5つの保育目標を大切に考え、その実現のためこどもの気持ちを聞き、やりたいことを尊重した環境の整備に努めています。年齢に応じた関わりを心がけ、コーナーを設置して手作り玩具をたくさん用意し、こどもがいつでも自由に好きな玩具を手に行き届くように遊びの環境を工夫しています。遊びの継続にも配慮し、棚の上には制作途中のものを置けるスペースを設けています。こどもたち一人ひとりの気持ちに寄り添い、のびのびと過ごせる環境の整備に努め、こどもの自発性、自主性を尊重した保育を展開しています。
2	タイトル	園では、ボランティアや実習生を積極的に受け入れ、図書館や小学校、地域のお寺との交流を通じて、こどもの社会性の育成に寄与しています
	内容	園では地域性を活かし、近隣の保育養成校から積極的にボランティアや実習生を受け入れています。前年度(2022年度)は実習生4人、ボランティアを16人受け入れた実績があります。実習やボランティアの受け入れ時には、マニュアルの確認や誓約書を取り交わし、実習にあたっての留意事項を伝えています。また、地域とのかかわりを重視し、図書館の利用や小学校の学芸会への参加、地域のお寺との交流活動などを積極的にこなしています。これらの活動を通じて多世代との交流や地域とのつながりを育み、こどもたちの社会性の育成に寄与しています。
3	タイトル	園ではワークライフバランスを重視し、十分な職員の確保とともに、職員の主体性を尊重し、働きがいとモチベーション向上に努めています
	内容	園では、ワークライフバランスを重視し、職員が意見の出しやすい環境です。基準よりも多く職員を採用・配置することで、職員の勤務時間や有給休暇が取得しやすく、職員がワークライフバランスを維持しながら勤務することが出来ます。さらに職員と積極的にコミュニケーションを図り、風通しの良い職場環境に努めています。また、目標達成や課題解決、チームで活動する際には、職員の主体性を尊重し、意見を出しやすい環境を整えています。職員が得意分野で活躍できるよう工夫しながら、職員の働きがいや意欲向上に取り組んでいます。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	現在取り組んでいる地域交流の継続とともに、今後はコロナ禍で進められなかった地域交流や地域への貢献活動が充実することに期待します
	内容	園では、近隣の自然豊かな蚕糸の森公園や梅里公園などの地域の資源を活用し、こどもたちが多様な体験をできるようにしています。隣接する寺院の住職の方の厚意で境内で散歩ができたことから、勤労感謝の日に合わせて5歳児よりプレゼントを渡し交流を深めています。さまざまな地域とのつながりを構築していますが、コロナ禍により制限も多く、地域の方を園内イベントに招待することが難しい状況でした。今後は、感染症の流行状況を見極めながら小学校との連携や地域の子育て支援など、少しずつ地域交流、貢献活動が充実することに期待します。
2	タイトル	組織再構築とマニュアル見直し、災害対策の再確認をおこない、BCPの改善と安全対策を強化し、有事の際の迅速な事業継続に期待します
	内容	園では新たな園長の就任に伴い、組織体制の構築やマニュアルの見直しを課題として取り組んでいます。災害や事故に備え、消防計画を具体的に策定し、そのほか防災マニュアルをはじめ、事故防止及び事故発生時の対応マニュアルや保健衛生マニュアル、感染症予防マニュアルなどを再確認しました。マニュアルを整備する中で、BCP(事業継続計画)の見直しにも取り組んでいます。この活動を通じてより、こどもたちや保護者にとって安心・安全の向上を図り、今後深刻な事態に対して迅速に対応できる新しい組織体制の構築に期待します。
3	タイトル	職員の定着率が高く、園内外の研修でさらなる保育の質向上を図り、経験を活かした後輩育成をおこないつつ、園全体の質の向上に期待します
	内容	園では、職員の定着率が非常に高く、保育士経験の長い職員が努めているのが特徴です。職員同士のコミュニケーションを積極的に行っており、職員会議などでも自ら意見を出し合い、積極的に意見交換し合える風土があります。また、積極的に園内外で研修を取り入れ、職員のスキル向上と同時に、時代とともに変化する保育の現状を学んでいます。今後は園長・主任・ベテラン職員を中心にさらに保育の質を向上させていくとともに、後輩に学んだことや技術を伝え、園全体の質の向上に期待します。